

第4回 **V** 判定テスト 解答

(1)	A
	ア ● 4
	B
	ウ ● 4

(2)	あ	ぎ	ける	よう	う	に	6	(3)	ウ	6	(2) 【抜き出し】				
(4)	喧嘩	に	負けた	父親	が、	以後、	菊池								
(5)	を	叱	る	こと	が	な	く	な	っ	て	し	ま	っ	た	8

(7)	初め	啓	介	は、	父	つ	こ	な	い。	8	(7) 【抜き出し・ 完了】				
(5)	ウ ● 7														
(6)	エ ● 7														
(4)	を	叱	る	こと	が	な	く	な	っ	て	し	ま	っ	た	8

(1) 4点×2 (2) (3) 6点×2 (5) (6) 7点×2 (4) (7) 8点×2

1 / 50

(3)	ウ ● 4	(4)	エ ● 7	(2) 【抜き出し】
(1)	ウ ● 7	(2)	語句の連絡と結びつけ ● 7	

(5)	語句の表現法の秘訣 ● 7	(5) 【抜き出し】	
(6)	イ ● 7	(7) 蝉(蝉の声) ● 4	季節
(9)	雪だるまの上にとたくさんの星がま	(8) 夏 ● 4	(8) ア ● 6
(10)	ア ● 6	(11) ア ● 6	(7) 7

(3) (7) 4点×3 (8) (10) (11) 6点×3 他 7点×6

2 / 72

(1)	馬 ● 3	(3) 犬 ● 3	(4) 鳥 ● 3
(2)	牛 ● 3		
(5)	魚 ● 3		
(6)	羊 ● 3		

3点×6

3 / 18

(1)	き ● 1	(3) 図書館 ● 1
(2)	ろうほう ● 1	(4) 規律 ● 1
(5)	有頂天 ● 1	(7) さば ● 1
(6)	ちき ● 1	(8) 潔 ● 1
(9)	応対 ● 1	(10) ぞうき ● 1

1点×10

4 / 10

V判定テスト 解答

算数6

1	(1)	7
	(2)	53
	(3)	$1\frac{1}{4}$
	(4)	$\frac{5}{8}$

2	(13)	25.12	cm ²
	(14)	5 : 7	
	(15)	36	cm ²
	(16)	26	度

1	/20
	5点×4

2	/80
	5点×16

2	(1)	1680	円
	(2)	110	
	(3)	1 時間 12 分	
	(4)	火	曜日
	(5)	4.8	ℓ
	(6)	48	通り
	(7)	360	g
	(8)	50	個
	(9)	7	
	(10)	40	km
	(11)	二十四(24)	角形
	(12)	42	才

3	(1)	5.2	%
	(2)	240	g

3	/10
	5点×2

4	(1)	252	cm ²
	(2)	9	cm

4	/10
	5点×2

5	(1)	2400	m
	(2)	12	分後

5	/10
	5点×2

6	(1)	7	通り
	(2)	31	通り

6	/10
	5点×2

7	(1)	177	ℓ
	(2)	55 分 20 秒	

7	/10
	5点×2

V判定テスト 解答

理科6

1	(1)	16.0	%	(2)	180	mA	0.18	A	(2)【完答】
(3)	順序	ア → イ → カ → エ → ウ → オ → キ						ことば	ピント
(4)	イ・オ・キ・ク	(5)	記号	ウ	名前	ディスクバリー			(5)【完答】 (6)【同意可】
(6)	満月のときは大潮で満潮時の潮位が高くなっているから。						(7)	工	1 /21

(3)【答えの順序で・記号とことば完答】 (4)【順不同・完答】 3点×7

(1)	①	イ	②	液面に白いまくがはっている。						
(2)	①	塩酸	②	ア	(3)	①	砂とう水	②	イ	
(4)	B	T	B	液	を	加	え	る	。	2 /21

(1)②【同意可】「白くにごっている」は1点減じ、2点とする。(4)【同意可・10字以内】 3点×7

(1)	①	イ	②	イ	③	ウ	④	ア
(2)	①	おもりの材質を変える。						(2)①【同意可】
	②	E	③	C	④	6	秒	3 /24

3点×8

(1)	6	月	(2)	75.4	度	(3)	11	時	36	分
(4)	ウ	(5)	北	緯	23.4	度	(5)【完答】			
(6)	①	イ	②	イ	③	白夜	(6)③【漢字指定】	4 /19		

(1)~(3)3点×3 他2点×5

(1)	I	にさんかたんそ 二酸化炭素	II	さんそ 酸素	(2)	こきゅう 呼吸	(1)【完答】
(3)	こうごうせい 光合成	(4)	しょくもつれんさ 食物連鎖	(5)	ア・工・オ	5 /15	

(5)【順不同・完答】 3点×5

V判定テスト 解答

社会6

1

(1)	オ	(2)	①	ウ	②	ウ
(3)	エ	(4)	I群	ウ	II群	イ

1
/12
2点×6

2

(1)	イ	(2)	エ						
(3)	①	3	②	りょういんきょうぎかい 両院協議会	③	ア	④	イ	オ
(4)	ア	(5)	①	こうしょくせんきよ 公職選挙法	②	ウ	(3)①【算用数字指定】 ④【順不同可・完答】		
(6)	①	D	ゆうせい 郵政	E	へいりつ 並立				
	②	ウ	③	イ					
(7)	イ	(8)	①	エ	②	イ			

2
/32
2点×16

3

(1)	6	(2)	B	しょうえん 荘園	C	たいこうけんち 太閤検地	D	のうちかいかく 農地改革
(3)	文	5	政策	地	租	改	正	(1)【算用数字指定】 (3)(政策)【漢字4字指定】
(4)	イ	(5)	ウ	(6)	ウ	(7)	イ	
(8)	ア	(9)	エ	(10)	ウ	(11)	カ	

3
/42
3点×14

4

(1)	I	D	II	A	(2)	ウ	
(3)	C	(4)	エ	(5)	B	(6)	ウ

4
/14
2点×7

※指定以外のひらがな可・漢字まちがい不可

① <小説>

出典「ゴールまで」内海隆一郎。

- (1) 啓介の心情とともにとらえてください。
- A 「友人の菊地を誘って見物には来たが、父親のことは一言も話さなかった」とあるように、菊地には、父のことを知られなくなかったのです。それは「よたよたして来る恐れもある。途中でギブアップしているかもしれない」という心配からです。そういう点からは、菊地が啓介の父を知らないのは好都合なのです。
- B それまで、父親のことを秘密にしていた啓介は、父の姿を見つけるとともに「……おやじだ」と言ってしまう。もう菊地にはわかってしまいました。啓介にはもうかくそうとする気はないはず。むしろ「叫びながら、父親へ向かって歩道を走り出した」ことに啓介のこのときの気持ちが表れています。この行動に近いものを選びます。
- (2) 「鼻」は「鼻であしらう」「鼻が高い」など、プライドなどの象徴として用いられます。「鼻先で笑う」も、少し人をばかにした笑いかたです。「あざわらう」「あざける」などが似た意味になります。
- (3) なぜ、菊地に話さなかったのかと考えます。この後に、啓介が一度父親がマラソンに出ていることを打ち明けかけて、思い直すところがあります。それは「よたよたして来る恐れもある。途中でギブアップしているかもしれない」という心配からです。菊地に話さなかったのはそのためだと考えられます。
- (4) その後、菊地の父親が「途端にオドオドしちゃってさ。おれを叱ることもなくなっちゃった」と説明されています。父親が叱ることがなくなってしまうと、腕づくで喧嘩することはなくなってしまう。
- (5) 「まいっちゃうよな、おやじが自分より弱くなったことが分かっちゃうと」とあるように、啓介は必ずしも弱い父親を歓迎しているわけではありません。それでも、父親がうとましいのは「おれに無言で説教している気なんだな」と啓介が思うからです。「まったく自堕落だな」と自分でもわかっているのだけれど「どうてい父親のように……変貌はできっこない」と自分自身悩んでいるから、無言の説教がこたえるのです。
- (6) 「驚いた表情になった」「白い歯を見せた」「大きくうなずいた」という表現から、驚き、喜び、そして声援に答えようという父の思いを読み取ることはできます。ただ「自分を尊敬するようになるだろう」ということを、ここから読み取るのは無理があります。
- (7) 実際に菊地と、マラソンのゴール地点にいる場面と、啓介の心理描写を中心とし、ここまでの経緯を説明をしている場面とにわけることができます。

② <説明文>

出典「俳句の楽しみ」鷹羽狩行。

- (1) 「そのコツを知るには……」の段落に、「まず俳句をたくさん読むことでしょう」と説明されています。
- (2) 次の段落に具体的に説明されています。「語句の連絡と結びつけを新しく作り出せないようでは役に立ちません」という部分の「新しく作り出せない」に着目しましょう。「新しく作り出す」ことが、表現における発明・発見にあたります。何を新しく作り出すのでしょうか。
- (3) 「……並べると」ということば、さらに「いや……一語だけあっても……」と補足していることから、「多くの」という意味のことばが入るとわかり、否定的な文脈から「やたらに」

が選ばれます。

- (4) 「使われたことばが全体として調和し、統一されていないから」と理由が説明されています。調和や統一を欠いた俳句とはどのようなものかと考えます。
- (5) 「それを知れば」に注目し、何を知らうとしているのかを考えます。「そういう語句の表現法の秘訣ひけつといったものは……すぐれた俳句を多く読まなくてはなりません」とあることから、すぐれた俳句を読むことで「語句の表現法の秘訣」を知ることができると思われます。
- (6) 芭蕉はしゅうの句の解説をよく読みましょう。まず「創造の第一はセミの声を『岩にしみ入る』としたところにあります」とあり、「じっさいにはありえない」と続くことから、実際にはありえない表現は創造にあたります。「降るようなセミの声を、逆にしずかだと表現したところも、この句の創造です」とあることから逆説的な表現も創造にあたります。「創造の第三は、『閑かき』という表現によって『涼しさ』を感じさせるところです」からは、語句の結びつきに意外性のあるところも創造にあたるとわかります。
- (7) 「蝉せみ」で季節が「夏」だとわかります。このように俳句の中で季節を示すことばを季語といいます。
- (8) 「耳を聳こたする音のなか……岩のなかに音が沁しみとおるような静寂せいじやくを表現しているのです」とあります。やかましい音のなかに静けさを発見したと理解できます。
- (9) 「夜の雪ダルマ、その上に星空を配した」という説明があります。また「星は『チカチカ』『ピカピカ』とまたたくといわれますが……しゃべる声にした」ともありますから、「星のおしゅべりべちゃくちゃと」を表現するために、星がまたたいているということばも加えましょう。
- (10) 「星のまたたいているようす」を「星のおしゃべり」と表現したわけですが、星のまたたきとは実際には星の光です。
- (11) 「星たちが、あれはなんだろう、おもしろいかつこうしてるね、と騒がしくしゃべりあっているという童話の世界が生まれました」とあります。星たちがしゃべるという表現は擬人法です。

1 <計算問題>

(1) $476 \div (153 - 17 \times 5) = 476 \div (153 - 85) = 476 \div 68 = \underline{7}$

(2) $(123 + \square) \div 16 + 17 = 28$, $123 + \square = (28 - 17) \times 16 = 176$
 $\square = 176 - 123 = \underline{53}$

(3) $(1\frac{1}{3} + 0.75) \div 1\frac{2}{3} = (\frac{4}{3} + \frac{3}{4}) \div \frac{5}{3} = (\frac{16}{12} + \frac{9}{12}) \times \frac{3}{5} = \frac{25}{12} \times \frac{3}{5} = \frac{5}{4} = 1\frac{1}{4}$

(4) $(\frac{2}{3} - \frac{2}{7}) \times (\square + \frac{1}{4}) = \frac{1}{3}$, $(\frac{14}{21} - \frac{6}{21}) \times (\square + \frac{1}{4}) = \frac{1}{3}$
 $\frac{8}{21} \times (\square + \frac{1}{4}) = \frac{1}{3}$, $\square + \frac{1}{4} = \frac{1}{3} \times \frac{21}{8} = \frac{7}{8}$, $\square = \frac{7}{8} - \frac{1}{4} = \underline{\frac{5}{8}}$

2 <一行問題>

(1) $720 \div (1 - \frac{4}{7}) = 720 \times \frac{7}{3} = \underline{1680}$ 円

(2) 6と9の最小公倍数は18, $18 \times \square + 2 \rightarrow 3$ けた
 $100 \div 18 = 5 \dots 10$, $100 - 10 + 2 = 92$, $92 + 18 = \underline{110}$

(3) 仕事量を1とすると, $A \rightarrow \frac{1}{3}$ /時間, $B \rightarrow \frac{1}{2}$ /時間
 $1 \div (\frac{1}{3} + \frac{1}{2}) = 1 \div \frac{5}{6} = \frac{6}{5} = 1\frac{1}{5} \Rightarrow \underline{1時間12分}$

(4) $(31 - 3) + 30 + 5 = 63$, $63 \div 7 = 9 \dots 0 \Rightarrow \underline{\text{火曜日}}$

(5) $72 \div 15 = \underline{4.8}$ ℓ

(6) $4 \times 4 \times 3 = \underline{48}$ 通り

(7) $600 \times \frac{8}{100} \div \frac{5}{100} = 600 \times \frac{8}{5} = 960$, $960 - 600 = \underline{360}$ g

(8) $(10 + 6) \div (7 - 5) = 16 \div 2 = 8$ (人), $5 \times 8 + 10 = \underline{50}$ 個

(9) $\overbrace{1, 7, 2, 3, 5, 2, 3}^{7 \text{ 個}}$ のくり返しです。
 $100 \div 7 = 14 \dots 2 \Rightarrow \underline{7}$

(10) $25 \times 1\frac{36}{60} = 25 \times 1\frac{3}{5} = 25 \times \frac{8}{5} = \underline{40}$ km

(11) $180 - 165 = 15$ 度 …外角, $360 \div 15 = 24 \Rightarrow \underline{\text{正二十四(24)角形}}$

(12) $48 + 6 \times 2 = 60$, $60 \div (4 + 1) = 12$, $12 - 6 = 6$, $48 - 6 = \underline{42}$ 才

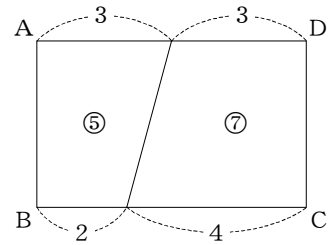
$$(13) \quad 9 \times 9 \times 3.14 \times \frac{1}{4} - 7 \times 7 \times 3.14 \times \frac{1}{4}$$

$$= 3.14 \times \frac{1}{4} \times (81 - 49) = 3.14 \times 8 = \underline{25.12\text{cm}^2}$$

(14) AD, BCの長さを6とします。

$$\left(6 \times \frac{1}{2} + 6 \times \frac{1}{3}\right) : \left(6 \times \frac{1}{2} + 6 \times \frac{2}{3}\right)$$

$$= (3 + 2) : (3 + 4) = \underline{5 : 7}$$

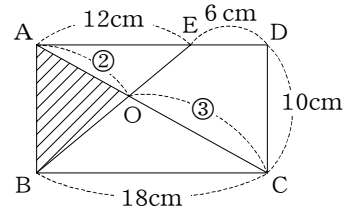


(15) 右の図で、三角形AOEと三角形COBは相似。

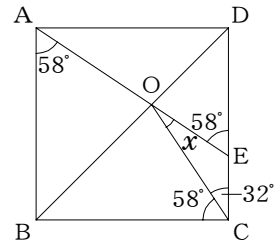
$$AO : OC = 12 : (12 + 6) = 2 : 3$$

したがって、斜線部分の三角形の面積は、

$$18 \times 10 \times \frac{1}{2} \times \frac{2}{3+2} = \underline{36\text{cm}^2}$$
 となります。



(16) 右の図で、三角形ABOと三角形CBOは合同なので、角BAO=58°
 角BAOと角DEOは、さっ角で等しいので、角DEO=58°
 角ECO=90°-58°=32°
 58=32+x, x=58-32=26度

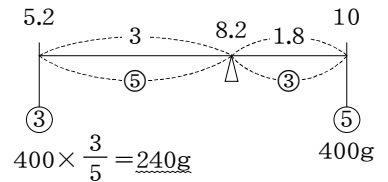


3 <食塩水-標準問題>

(1) 2%の食塩水300gに10%の食塩水200gを加えます。

$$300 \times \frac{2}{100} = 6, \quad 200 \times \frac{10}{100} = 20, \quad \frac{6+20}{300+200} \times 100 = \frac{26 \times 100}{500} = \frac{26}{5} = \underline{5.2\%}$$

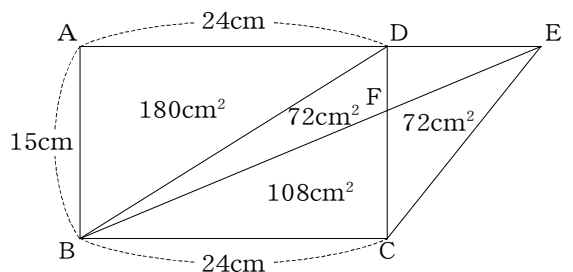
(2) 容器Aには10%の食塩水が、
 600-200=400g 残っています。
 これに、5.2%の食塩水を何g加えれば
 8.2%になるかを考えます。
 右の図の「てんびん」の考え方により、240g



4 <平面図形-標準問題>

(1) 右の図で、三角形BCDと三角形BCEの面積は等しく、
 三角形BCFの部分は共通なので、
 三角形CEFと三角形BDFの
 面積は等しくなります。

したがって、台形ABFDの面積は、
 $15 \times 24 \times \frac{1}{2} + 72 = 180 + 72 = \underline{252\text{cm}^2}$



(2) 三角形BCFの面積は、 $180 - 72 = 108\text{cm}^2$

$$108 = 24 \times CF \times \frac{1}{2}, \quad 108 = 12 \times CF, \quad CF = 108 \div 12 = \underline{9\text{cm}}$$

5 <速さとグラフ—標準問題>

(1) 右の図の斜線部分の三角形は相似です。

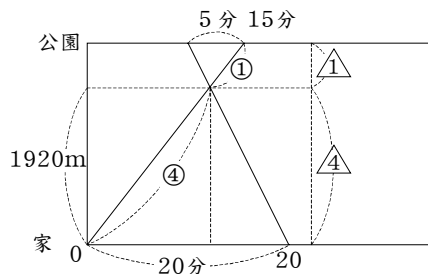
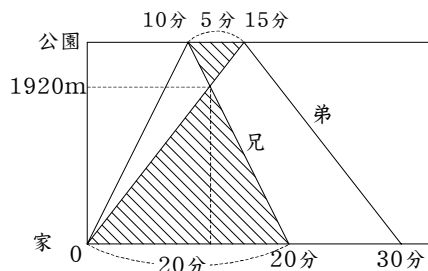
$$20 : (15 - 10) = 20 : 5 = 4 : 1$$

右下図より、家から公園までの道のりは、

$$1920 \times \frac{5}{4} = \underline{2400\text{m}}$$
 となります。

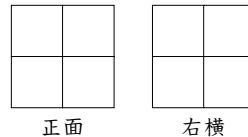
(2) 右下図より、兄と弟が出会ったのは、

$$15 \times \frac{4}{5} = \underline{12\text{分後}}$$
 となります。

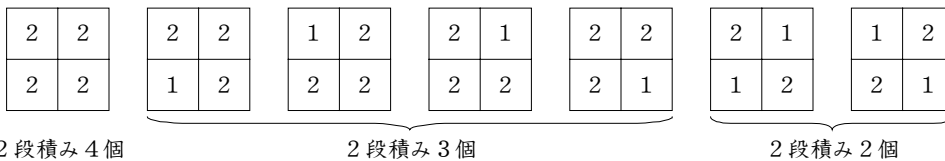


6 <場合の数—応用問題>

(1) 正面から見ても、右横から見ても左の図のように見えるためには、上から見たとき、下図のようにになっている必要があります。

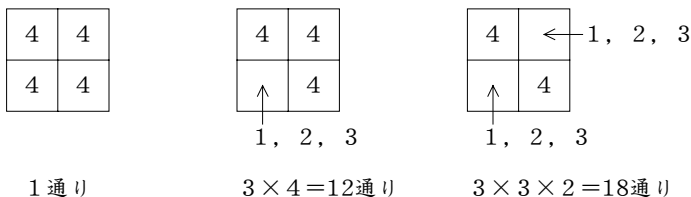


(図の中の数は、積んである立方体の数を示しています。)



以上より、7通り

(2) (1)と同じように考えます。



$$1 + 12 + 18 = \underline{31\text{通り}}$$

7 <仕事算－応用問題>

(1) $5 + 1 = 6$, $3 + 1 = 4$, $2 + 1 = 3$ より,

6分, 4分, 3分の最小公倍数の12分を1つのかたまりとして考えます。

12分間で, A管からは, $12 \times \frac{5}{6} = 10$ 分間, B管からは, $12 \times \frac{3}{4} = 9$ 分間,

C管からは, $12 \times \frac{2}{3} = 8$ 分間 水が出ます。

12分間でたまる水の体積は,

$$2 \times 10 + 3 \times 9 + 7 \times 8 = 20 + 27 + 56 = 103 \ell$$

残りの8分間で,

A管からは7分間,

B管からは6分間,

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×
B	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×
C	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×

C管からは6分間水が出ます。(右表より)

8分間でたまる水の体積は,

$$2 \times 7 + 3 \times 6 + 7 \times 6 = 14 + 18 + 42 = 74 \ell$$

したがって, 20分間でたまる水の体積は,

$$103 + 74 = \underline{177 \ell} \quad \text{となります。}$$

(2) (1)で, 12分間で水は, 103ℓ たまることが求められました。

$480 \div 103 = 4 \cdots 68$ より,

$12 \times 4 = 48$ 分後に, $103 \times 4 = 412 \ell$ の水がたまり,

あと 68ℓ 水が入れば良いことがわかります。

また, (1)より8分間で 74ℓ の水がたまることがわかっています。

7分間では, $74 - (2 + 7) = 65 \ell$ の水がたまります。(表より)

$$68 - 65 = 3, \quad 3 \div (2 + 7) = \frac{3}{9} = \frac{1}{3} \text{分} \rightarrow 20 \text{秒}$$

$$48 \text{分} + 7 \text{分} + 20 \text{秒} \rightarrow \underline{55 \text{分} 20 \text{秒}}$$

① <小問集合>

- (1) とけ残っているものは、水溶液にはふくめません。この場合、水100gに、ホウ酸が19g (25g - 6g) とけています。したがって、

$$\frac{19}{100+19} \times 100 = \frac{1900}{119} = 1900 \div 119 = 15.96\cdots \rightarrow 16.0\%$$

- (2) スイッチⅠだけを入れているとき、右側の2つの豆電球が並列になっています。この状態で回路全体の電流が360mAということは、豆電球が1つだけの場合は、180mAということになります。スイッチⅡだけを入れているときは、左側の1つの豆電球だけがつきます。なお、1Aは1000mAです。
- (3) 顕微鏡けんびきょうのほかに、アルコールランプ、ガスバーナー、上皿てんびんなどの使い方も復習しておきましょう。
- (4) 空気中を進む光が、ことなる物質に入出入りするとき、屈折します。ガラスなどに入るときは境界面から遠ざかるように、出るときは境界面に近づくように屈折します。ただし、キヤクのように境界面に垂直にあたる(入射角0度)ときには直進します。また、ガラスから光が出るとき、入射角が約43度より大きいとすべて反射してしまいます。
- (5) 入試で宇宙についての問題が出題されることが予想されます。先生の指示をよく聞いて、学習しておきましょう。
- (6) 2005年の夏には、アメリカにとっても大きなハリケーンが上陸して、大きな被害をもたらしました。2004年は日本でも上陸する台風の数が多かったり、台風そのものの強さも強くなっているようです。これは地球温暖化によるえいきょうではないか、ともいわれていて、今後大きな問題になる可能性があります。台風や地球温暖化、愛・地球博に関連して環境問題が出題されることも予想されます。
- (7) グッピーやサメは魚類ですが、たまごは産まず、親と似たすがたでうまれます。このよううまれかたを、卵胎生らんたいせいといいます。クジラとコウモリはほ乳類ほにゅうるいですから、胎生たいせいです。カモノハシはほ乳類ですが、たまごを産み母乳で育てます。

② <水溶液の性質>

- (1)① ビーカーに入れた水に、二酸化炭素をふきこむと、炭酸水になりますが、この程度では「あわが出るようす」は見られません。炭酸飲料などでは圧力をかけることによって水に二酸化炭素をとかします。炭酸飲料のふたをあけたとき、さかんにあわが生じるのは、圧力によってとかしこまれていた二酸化炭素が出てくるからです。
- ② 液面に空気中の二酸化炭素がとけこむので、白いまくができます。
- (2)①② 鉄は塩酸にとけ、このとき水素が発生します。塩酸には塩化水素という気体とけています。水素は最も軽い気体で、水にほとんどとけません。また、水素は燃えて水になります。
- (3)① 砂とうには炭素がふくまれているので、熱すると黒くこげます。また、この実験では、砂とうがこげるあまいにおいがします。
- ② 9つの水溶液のうち、塩酸、アルコール水、アンモニア水は熱したときに何も残りません。これは溶質が水とともに蒸発してしまうからです。塩酸はCとわかっているのので、E、Fはどちらかがアルコール水、もう一方がアンモニア水です。これらのうちアルコール水は中性ですから、赤リトマス紙につけても、青リトマス紙につけても、色は変化しません。したがって、リトマス紙の色が変化したのは、アンモニア水をつけたときです。アンモニア水はアルカリ性ですから、赤リトマス紙につけたとき、青くなります。
- (4) ここまでで区別がついていない水溶液は、水酸化ナトリウム水溶液、食塩水、ホウ酸水

です。これらは順にアルカリ性、中性、酸性ですから、BTB液を加えるか、リトマス紙につけてみれば、区別することができます。

3 <ふりこ>

- (1)①ふりこの長さとは、支点からおもりの重心までのことです。
- ②③ $a \rightarrow b$ はだんだん速くなり、 $b \rightarrow c$ はだんだんおそくなります。また、 $c \rightarrow b$ はだんだん速くなり、 $b \rightarrow a$ はだんだんおそくなります。
- ④ふりこがおりてくるとき、糸が切れたしゅん間のところよりも、高くなることはありません。
- (2)①たとえば 1 cm^3 あたりの重さは、鉄は約 8 g ですが、木は約 0.6 g (種類によって大きくことなります。) です。なお、おもりの中に空どうをつくる、という方法も考えられます。
- ②Aと長さがことなり、重さ (100 g) とふれはば (10 cm) が等しいものをくらべます。
- ③Aと重さがことなり、長さ (25 cm) とふれはば (10 cm) が等しいものをくらべます。
- ④ふりこが1往復にかかる時間は、長さによってのみきまり、重さやふれはばは無関係です。また、長さを4倍 (2×2)、9倍 (3×3) …にすると、1往復の時間は2倍、3倍…となります。

4 <夏至の日の地球>

- (1) 春分の日は3月、夏至の日は6月、秋分の日は9月、冬至の日は12月のそれぞれ下じゅんにあります。
- (2) 春分の日と秋分の日の太陽の南中高度は、「 $90\text{度} - \text{観測地の緯度}$ 」によって求めることができます。日本での夏至の日の太陽の南中高度は、この値に 23.4度 (地軸のかたむき) を加えれば求めることができます。

$$90 - 38 + 23.4 = 75.4\text{度}$$

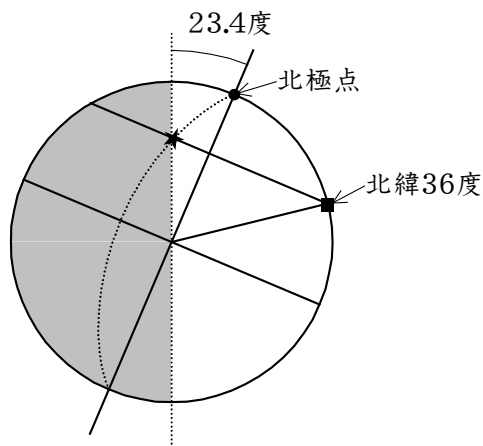
- (3) 地球は地軸を中心にして1日 (= $24\text{時間} = 1440\text{分}$) で1回 (360度) 自転しています。したがって、経度1度のちがいは、4分 ($1440\text{分} \div 360\text{度}$) のちがいになります。日本標準時は東経 135度 なので、

$$(141 - 135) \times 4\text{分} = 24\text{分}$$

つまり、東経 135度 上の地点が図の■にあるのが12時で、それまでに24分かかる、ということですから、次のように求めます。

$$12\text{時} - 24\text{分} = 11\text{時}36\text{分}$$

- (4) 右の図の★がA地点が日の出をむかえているしゅん間です。この図から、夏至の日は経度が同じなら、北の地域ほど日の出が早いことがわかります。



5 <生物どうしのつながり>

- (1)(2)(3) 生物は呼吸のときに酸素を吸収し、二酸化炭素を放出します。呼吸とは、酸素と養分を用いて、生活のエネルギーをつくるはたらきのことです。この場合、植物が二酸化炭素を吸収し、酸素を放出する光合成をおこなっているため、日光があたっている昼間と考えられます。
- (5) 草などは肉とくらべて消化しにくいので、消化管が長くなっています。また、草をすりつぶすためのきゅう歯が発達しています。

① <国際連合および地球環境問題>

- (1) オ このような目的をもった国際機関はありません。
- (2)①ウ 二酸化炭素の増加によっておこるのは、地球の「寒冷化」ではなくて「温暖化」です。
- ②ウ 古紙として回収すると、その分の森林を伐採しなくてすむことになります。また、古紙は再生紙として利用されるので、資源の再利用(リサイクル)にもなります。
- (3) ア 労働条件の改善や完全雇用、労使協調、社会保障等を促進することを目的としています。
- イ 開発途上国の児童に対する長期的な援助を行っています。
- ウ 加盟国が通貨に関して協力し、為替相場の安定を促進し、世界貿易の拡大をはかることを目的としています。
- (4) 2005年度ノーベル平和賞は、国際原子力機関(IAEA)およびエルバラダイ事務局長に授与されることになりました。国際原子力機関は、原子力の平和利用を促進するための技術協力や、核物質の軍事転用を防止するために、各国の原子力関連施設への査察などを実施しています。また、核拡散防止条約の加盟国のうち、核非保有国については、核兵器の製造・取得が禁止され、国際原子力機関による査察を受入れることが義務づけられています。

② <日本の政治のしくみと選挙制度>

- (3)①憲法に出てくる数字については、平和主義＝第9条など、条文の数字や国会の定足数、表決などに必要な数を覚えておきます。
- ②予算の議決、内閣総理大臣の指名、条約の承認において、衆議院と参議院の議決が異なった場合は、必ず両院協議会を開くことになっています。
- (4) イ 「国会の指名」が誤りで、正しくは「内閣が指名し、天皇が任命」となります。
- ウ 「参議院議員選挙」が誤りで、正しくは「衆議院議員選挙」となります。
- エ 「外国と結んだ条約」が誤りで、条約については違憲立法審査権は行使できません。
- (5)①公職選挙法(1950年)は、衆議院議員、参議院議員ならびに地方公共団体の議会の議員および首長(＝総称して公職と呼びます)の選挙について規定した法律です。わが国の選挙の方法、選挙区、選挙運動、選挙管理機関などを定めています。
- ②近代選挙の原則とは、普通選挙・平等選挙・直接選挙・秘密選挙の4つのことをいいます。また、比例代表制は、衆議院および参議院議員の国政選挙で採用されているだけです。
- (6)①D 郵政民営化とは、日本郵政公社の民営化(一般の会社にすること)を指し、具体的には郵政3事業(郵便・郵便貯金・簡易保険)の民営化のことです。2001年1月に郵政省は、郵政事業庁(総務省内)となり、2003年4月1日からは日本郵政公社となりました。そして、2007年10月から民営化＝日本郵政株式会社がスタートします。
- E 並立制とは、2つの選挙を一度に行うということで、小選挙区選挙と比例代表選挙の2つの選挙でそれぞれ議員を選ぶことになります。
- (8)①エ 死票とは、小選挙区で落選した候補者に投じられ、議席に反映されない票のことです。小選挙区制では、1位以外の候補者への票はすべて死票となってしまいます。

- ②イ ドント式による議席配分の方法は、各政党の得票数を自然数(正の整数)で割っていき、その商の大きいものから当選とする方法です。右の表から、A党が3人、B党が1人、C党が1人、D党が0人となることがわかります。

政党	A党	B党	C党	D党
得票数	10000	5500	3500	1000
÷1	①10000	②5500	④3500	1000
÷2	③5000	2750	1750	500
÷3	⑤3333	1833	1167	333
÷4	2500	1375	875	250
議席数	3人	1人	1人	0人

3 <日本の農村の移り変わり>

- (3) 資料は、地租改正の際に交付された地券です。明治政府は、土地の所有者に地券(所有者の名前・面積・地価・地租額を記入した証書)を交付して土地の所有権を認め、1873年から地租改正を行い、1884年の「地租条例」の公布によって終了しました。地租改正は、①米から現金にかえて納めさせる、②課税の基準を、収穫高から地価(土地の値段)にあらためる、③税率を地価の3%(後に2.5%)とし、土地の所有者に税を納めさせる、というものでした。
- (5) この時代とは、江戸時代のことです。また、アの牛馬耕は、鎌倉時代に始まりました。イの石包丁と工の木製の鋏は、弥生時代に使用されました。
- (7) アは和同開珎で、708年に鑄造された日本で最初の本格的な貨幣です。ウは富本銭で、7世紀後半の鑄造と考えられる日本最古の貨幣です。工は寛永通宝で、1636年に発行以来、江戸時代を通じて同じ名で発行され、永楽通宝に代わって全国的に通用した代表的な貨幣です。
- (8) ア 五人組のしくみがつくられたのは、江戸時代のことです。
- (9) この時代とは、平安時代のことです。また、工の文は、鎌倉時代の農民について述べています。
- (10) ウ このような事実はなく、1873年の徴兵令では、国民皆兵を建前として20歳以上の男子を兵籍に入れ、3年間兵役につかせました。

4 <日本の地誌>

- (1) I 「日本なしの生産が多く」・「スプリンクラーを利用」などから、鳥取平野(鳥取県)と考えます。
II 「明治の初期に…開発」・「泥炭地」などから、石狩平野(北海道)と考えます。
- (2) アは横浜市(太平洋側の気候)、イは高松市(瀬戸内の気候)、工は福井市(日本海側の気候)の気候グラフ(雨温図)です。
- (5) 「原油や天然ガスが産出」や「(上越)新幹線」・「(関越)自動車道」などから、越後平野(新潟県)と考えます。
- (6) ①は山形県、②は宮城県、③は高知県、④は福岡県を示しています。また、Wは、人口や工業生産額が最大であることから福岡県です。Xは、人口や工業生産額がWに次いで大きいことから宮城県です。Zは、人口増加率や工業生産額が最小であることから高知県です。